

2025年9月1日

業務名称：ALOS-4を活用したJICA-JAXA熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）用クラウド基盤構築・運用業務
（公告日：2025年8月1日 調達管理番号：25a00452）について、意見招請実施要領に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構

通番	該当頁	項目	質問	回答
1	P. 5	4. 業務の内容(本事業で調達する物品・サービス仕様)	8) ALOS-4 データをハンドリングできることとあり、「ALOS-4」の指定があるが、ALOSおよびALOS-2についてのご利用の可能性はございませんでしょうか？ 衛星データの利用者からは過去アーカイブデータが揃っていることのニーズを伺う機会もあり、ALOSシリーズでの利用想定があるのかについてお伺いしたいです。	基本的にALOS-4をメインで使用する予定ですが、もちろんALOS-2も扱う可能性はあります。また、これまでALOS-2で実施した森林面積変化の検出結果等は活用する想定です。
2	P. 5	(3) 作業要件 1) システム設計 1 全体構成設計	要件にはクラウドサービスとして下記の記載があるが、データの保管場所やクラウドリソースに国内等が好ましいなどのご意向や制約はありますでしょうか？ ・(ア) 利用するクラウドサービス (ISMAP クラウドサービスリストに記載されているものに限定する)の選定	以下の通り記載しており、こちらを踏まえてご対応いただくようお願いいたします。 (3) 作業要件4) 設置場所クラウドサービスにおける物理的なデータ保存・処理拠点（リージョン）は、日本国内に限定すること。
3	P. 8	別表1 仕様	(1) 処理サーバについて、記載のスペックが必ず必要でしょうか？ 計算能力として、12式＜相当＞であれば良いのか、それとも物理的にサーバ12台、もしくはVMで12台を揃えなければならないのかなどについてお伺いしたいです。 その際、スペックの制限事項があれば教えてください。 本処理サーバの用途についても可能な範囲で教えていただけると幸いです。	12式相当という認識で問題ありません。 処理サーバでの用途としては主にALOS-4観測データを用いてブラジル熱帯林を対象として森林面積変化を自動検出し、結果のポリゴンデータを作成するものとなります。GPUを用いた処理は行っておりません。
4	P. 8	別表1 仕様	(2) (3)の用途の違いを教えてください。 用途によって、より適した構成・スペックを検討いたします。	以下の通りデータを配置する事を想定しております。 ・処理サーバに接続された永続ストレージ 処理サーバが直接アクセスする衛星データや中間ファイル、ポリゴンデータ ・(2) マネージドNFSサービス 上記以外の常時必要な補助データ領域や解析済みデータ置き場。また外部からsftpなどでデータを置くサーバーのマウントする領域 ・(3) オブジェクトストレージ 元となった衛星データや解析したデータの内、比較的アクセス頻度の低い、過去のデータ等を配置する領域。 オブジェクトストレージ以外でも、例としてはFSx for NetAPP ONTAP等のNFSサービスで(2) (3)と合わせて1.2PB相当を実現頂くでも構いません。